

18 マーガレットのPRによる産地の活性化支援

■ JA香川県三豊マーガレット部会 ■

(西讃農業改良普及センター 濱口 政也)

●対象の概要

県の西端に位置した半島部の旧詫間町と南隣の旧仁尾町はどちらも瀬戸内に面し、冬が比較的暖かいため、古くから花きの主要産地となっている。その地域を中心とした「JA香川県三豊花卉部会」は平成19年に2つの部会が合併し、マーガレットをはじめヒマワリ、キンギョソウなどの草花を中心に共選・共販を行っている。

中でも主要品目のマーガレットは50戸の農家で約250万本（26年度産）の出荷があり、日本一となっている。

●課題を取り上げた理由

三豊のマーガレット生産は全国一で、出荷量はもとより品質面でも市場評価は高い。また、平成26年には三豊市市政10年を契機にマーガレットが「市の花」に選ばれ、様々な場面で三豊市のPRにマーガレットが活用されている。

しかし、近年は生産者の高齢化による栽培面積の減少や消費者ニーズの多様化による競合アイテムの増加、また、生産者がそれに対応するための品目転換等により作付面積が減少しているのが現状である。

また、27年度の台風11号により、マーガレット定植準備中の施設が倒壊・破損するなど、当年の作付けに大きく影響した。

その中で、三豊マーガレット産地の維持拡大と三豊市のイメージアップを図るため、市、生産部会等に働きかけ、「チーム マーガレット三豊」の提案を行い、更なる認知度を向上させることを目標として活動に取り組んだ。

●普及活動の経過

1 販売促進活動の支援

生産・指導や市民・行政が連携した「チームマーガレット三豊」の提案を行った。マーガレットは見頃を過ぎても花卉が散らない特徴から、受験を応援する花として、平成22年度から

「落ちない花」マーガレットの贈呈を「マーガレット部会」、「三豊市」、「普及センター」の連携により行っている。また、市の花に制定されたことから、今後のマーガレットの活用方法について、生産者や関係機関に加え市民の連携による知名度アップと消費の拡大に向けた取り組みについて提案を行った。また、県関係機関と連携し市場でのPR活動や懇談会及び商談会の開催を支援を行った。

2 優良系統の維持とオリジナル品種の導入

現地選抜優良系統の早生種で品質等を調査し、現行の系統との比較及び特性を確認した。また、農業試験場で交配された系統については、前年までの現地試作で市場評価の高かった赤系2種と白の1種について再度現地で試作し、特性調査を行った。

3 台風後の復旧対策支援

7月17日の台風11号でマーガレット定植予定の11戸、4000㎡の施設が被災し、復旧に向けた支援や応急的な簡易施設、作型変更等の情報提供を行い、経営継続に向けた支援を行った。



台風11号による施設の被害状況

●普及活動の成果

1 販売促進活動

1) 「三豊マーガレット」のPR活動

関係機関が連携し、一般消費を対象にしたマーガレットPR活動の検討を行った結果、「三豊マーガレット」のPR活動用の映像を作成することとし、市と連携して行っている市内7中

学校への「落ちない花贈呈」などの活動や栽培風景を撮影し、次年度の完成に向けて活動中である。



市内中学での贈呈式
DVD用撮影と地元メディア

2) 市場・小売等への販売促進支援

マーガレットが市の花に制定されたこともあり、関東市場でJA三豊花卉部会が行う「三豊フェア」に併せて、三豊市長によるトップセールを支援し、春にかけて出荷が本格化することや、生産量が日本一であることをアピールし、受験シーズンに向けた消費拡大を推進した。



関東市場でのトップセールス
三豊市長・三豊花卉部会役員ほか

2 優良系統の維持とオリジナル品種の導入

1) 優良系統の早生系統を利用した早期出荷の作型検討

早生系統は高温の影響を受けやすく、開花の遅延や花径が小さくなる傾向があるため、現地で選抜された「白井早生」について検討した。「白井早生」が現行の「早生」種と比較して開花が1週間程度早く、花蕾数も2輪程度多くなり生育も揃っていた。収量については「白井早生」が現状の「早生」と比べて株当たりの切り花本数がやや多く、次年度以降にウイルスフリー化した苗で現場への普及を図って行く。

1) オリジナル品種の導入

交配系統の「C7-3 淡ピンク」については、作期の拡大に向けて定植を3回に分けて開花を確認した。7月31日定植が11月下からの収穫となり、定植を8月下旬、9月中旬の3回に分けることにより12月～3月まで安定出荷に繋げることができ、市場評価も得られた。

3 台風後の復旧対策支援

県単事業の災害復旧事業を活用し、ハウスの復旧に向けた支援を行った結果、11戸、3800㎡が再建した。

表-1 早生系統(現地選抜)比較【露地栽培】

	調査日	花蕾数	花径 mm	弁数	調整重 g	収量(本) 12/18まで
白井早生	10/24	12.3	40.1	17.4	43.3	7.63/株
	11/13	10.3	48.0	17.6	54.9	
	平均	11.3	44.1	17.5	49.1	
早生対照	10/24	10.8	40.0	17.3	41.8	6.13/株
	11/13	8.7	45.6	18.3	47.1	
	平均	9.8	42.8	17.8	44.5	

花蕾数:5ミリ以上の蕾も含む
調整重:50センチに切り揃え、下葉を1/3取り除く
収量調査:株あたりの切り本数

系統	月	7	8	9	10	11	12	1	2	3
C7-3 ピンク	7/31		○							
	8/29		○							
	9/16			○						
	前年 8/25		○							

図-1 交配系統 作型確認



農試交配系統
C7-3 ピンク

●今後の普及活動の課題

マーガレットに限らず花き類の販売単価は厳しい状況にあり、後継者不足による生産量の減少は今後も懸念される。三豊市の花マーガレットの更なるPRによる地域の活性化のため、組織づくりの誘導・オリジナル品種の導入推進・定着による安定生産、消費の拡大を目指す。